

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和3年 5 月 31 日

計画の名称	34 岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした都市基盤づくり																
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度 (5年間)					交付対象		盛岡市									
計画の目標																	
I にぎわいのある市街地の形成																	
・岩手飯岡駅につながる都市計画道路地を整備し、周辺区域への人口定着を図るため、良好な宅地を整備し健全な市街地を確保する。																	
計画の成果目標 (定量的指標)																	
・区域内人口。																	
・到達時間。																	
定量的指標の定義及び算定式																	
				定量的指標の現況値及び目標値										備考			
				当初現況値		中間目標値		最終目標値									
				(H25当初)		(H27末)		(H29末)						上段: () 従前エリアの値 下段: 変更後エリアの値			
① 区域内人口				(2, 320)		(2, 322)		(2, 324)									
区域内定住人口				2, 320		2, 275		2, 269									
② 国道4号から岩手飯岡駅までの到達時間				30		27		25									
到達時間 (分)				30		27		25									
上段: 計画 下段: 実施																	
全体事業費		合計 (A+B+C)		1, 647百万円	A	1, 441百万円	B	0百万円	C	206百万円	効果促進事業費の割合		12. 5%				
				1, 647百万円		1, 441百万円		0百万円		206百万円	C / (A+B+C)		12. 5%				
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制								事後評価の実施時期									
								令和3年5月									
課内組織にて事後評価を実施								公表の方法									
								担当事務課で公表									
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業 (道路事業)				上段: 計画 下段: 実施													
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
34-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	区画	改築	都南中央第三地区 ((都) 岩手飯岡駅三本柳線ほか)	区画整理26. 5ha	盛岡市						1, 333	
									区画整理26. 5ha								1, 333
34-A-2	道路	一般	盛岡市	直接	盛岡市	市町村道	改築	(他) 市道検断地5号線ほか	現道拡幅 L =0. 5km	盛岡市						108	
									現道拡幅 L =0. 5km								108
合計															1, 441		
															1, 441		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

C 効果促進事業				上段：計画												下段：実施
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
34-C-1	施設整備	一般	盛岡市	直接	盛岡市	改築	都南中央第三地区(埋蔵文化財調査・建物補償・造成)	埋蔵文化財調査・建物補償・造成整備面積5.0ha	盛岡市						206	
								埋蔵文化財調査・建物補償・造成整備面積5.0ha							206	
合計															206	
															206	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
34-C-1	区画道路築造（34-A-1）と一体で建物補償及び宅地造成また，埋蔵文化財調査を行うことにより，良好な宅地を整備し健全な市街地を確保しつつ，人と歴史文化が触れ合える街の実現。															

2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		地区内道路の整備改善と良好な宅地の整備を実施したことにより、平成29年度末時点で「区域内定住人口」が2,269人(当初目標値97.63%)，「国道4号から岩手飯岡駅までの到達時間」が25分（当初目標値100%）となり，幹線道路を中心とした都市基盤づくりが推進された。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（区域内人口）	最終目標値	2,324人	目標値と実績値に差が出た要因	全国的な人口減少による部分や東日本大震災の影響も考えられるが最小限の減少に抑えられている。
			住基		
		最終実績値	2,269人		
	指標②（到達時間）		住基	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終目標値	25分		
			実測		
最終実績値		25分			
		実測			
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3．特記事項（今後の方針等）					
・引続き各事業を推進し，公共施設の整備改善と良好な宅地を整備することにより健全な市街地の基盤づくりを行う。					

(参考図面)

[illegible]